

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公開番号】特開2006-326321(P2006-326321A)

【公開日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2006-170646(P2006-170646)

【国際特許分類】

A 4 5 D 40/26 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 40/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月25日(2009.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

睫毛及び／又は眉毛に組成物を付加するためのアプリケータ(3)であって、
柄(8)と、
前記柄の一端にあるアプリケータ部材(10)と、
を含み、
前記アプリケータ部材は、
プラスチック材料で作られた縦軸に沿って細長い支持体(11)、
を含み、
前記支持体は、近位端で前記柄(8)に結合されており、自由遠位端を有し、更に、該
支持体の前記縦軸(X)に沿って延びる2つの分枝部(12、13)のみを含み、該分枝
部は、その間に単一の開口部(19)を形成し、かつ一緒に該支持体の最大幅(W)を形
成し、

前記アプリケータ部材は、更に

前記分枝部の長さの少なくとも半分にわたって前記開口部(19)の上以外に延びるア
プリケータ要素を列が含む、該分枝部の1つにある少なくとも1列のアプリケータ要素(23)、

を含む、

ことを特徴とするアプリケータ。

【請求項 2】

前記分枝部(12、13)は、それらの端部で互いに結合されていることを特徴とする
請求項 1 に記載のアプリケータ。

【請求項 3】

前記開口部(19)は、実質的に平面であることを特徴とする請求項 1 又は 2 のいずれ
か 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 4】

前記開口部は、前記支持体の外形と実質的に同じ形状を有していることを特徴とする請
求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 5】

前記支持体(11)は、その幅よりも少なくとも 1.5 倍長いことを特徴とする請求項

1 から 4 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 6】

前記支持体の各分枝部（12、13）は、少なくとも 1 列（20、21）のアプリケータ要素を含むことを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 7】

前記アプリケータ要素（33、34；40、41）は、前記支持体の 2 つの対向する側に延びていることを特徴とする請求項 1 に記載のアプリケータ。

【請求項 8】

前記支持体の分枝部に沿って延びるアプリケータ要素の少なくとも 1 列の軸（Z）は、直線的であることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 9】

少なくとも 1 列の前記アプリケータ要素（23）の各々は、前記開口部（19）の前記平面に対する法線（N）と実質的に平行な方向に延びていることを特徴とする請求項 1 に記載のアプリケータ。

【請求項 10】

列の複数の連続するアプリケータ要素は、少なくとも部分的には、幾何学的分割面のいずれの側にも交互に延びることができる、ことを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 11】

列の少なくとも 2 つの連続するアプリケータ要素は、アプリケータ部材が列の軸に実質的に垂直である方向に沿って観察したとき、互いにクロスオーバーしてもよいことを特徴とする請求項 1 から 10 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 12】

支持体及びアプリケータ要素の少なくとも 1 つは、磁性粒子を含む、ことを特徴とする請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ。

【請求項 13】

睫毛及び／又は眉毛に付加するための化粧品及び／又はケア製品を含む組成物のためのパッケージ化及びアプリケータ装置（1）であって、

請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載のアプリケータ（3）と、

睫毛及び／又は眉毛に付加するための組成物（P）と、

を含むことを特徴とする装置。

【請求項 14】

前記組成物を収容する容器を含む、ことを特徴とする請求項 13 に記載の装置。

【請求項 15】

容器は、拭き取り部材を含むことができる、ことを特徴とする請求項 14 に記載の装置

。